

(別紙4) ※事業所ごとに作成してください。

障害福祉分野のICT導入モデル事業 積算内訳

【基本情報】

法人名	
事業所名	
職員数(実数)	人
施設利用者数	人

機器台数等との著しい矛盾が生じていないか確認します。

実支出(予定)額: - 円

別紙3の1. の(1)国庫補助対象経費の実支出(予定)額と一致しているか確認すること。

機器導入費用(合計)	初期設定に要する費用(合計)	値引額(合計)
-	-	

No.	導入内容	数量	単価	機器導入費用	初期設定に要する費用
1				0	
2				0	
3				0	
4				0	
5				0	
6				0	
7				0	
8				0	
9				0	
10				0	
合計				-	-

複数モデルの機種がある場合には、低価格帯の機種を選択することが基本的な考え方であるが、やむを得ず高価格帯の機種を導入する必要がある場合は、その理由や事情を具体的に記載すること。

備考 <small>(特別な事情等があれば記載)</small>	
--	--

※本内訳書の資料として、複数の業者から徴した見積書の写し(PDFファイルを添付すること。)

なお、ホームページ上で示されている製品価格の写しなどではなく、必ず複数の業者から見積書を徴すること。

※ソフトウェア(事業所での業務を支援するソフトウェア(記録業務、情報共有業務、請求業務)、バックオフィス業務のためのソフトウェア(業務効率化に資する勤怠管理、シフト票作成、人事、給与、ホームページ作成などの業務))の導入について協議を行う場合には、請求業務等を一通貫(転記等の業務が発生しない)で行うことが可能となっている製品であることが確認できる資料を添付すること。